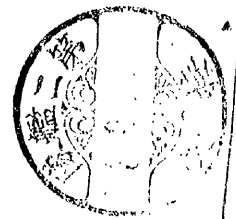


送船老官誌
八二
三

関戦前誌

送船老官誌



1141

月	日	曜
八月	十日	月
記		
辛		
午後二時半横須賀入港 三十五噸起重機下横付		
本船飛行機母艦ト定ム (横須賀鎮守府傳達)		
晴氣温 最高八七 最低七八 氣壓 最高三〇・二三 最低三〇・〇五 風向東 風力〇・一二		
正午位置同前以下同 晴氣温 最高八八 最低七八 氣壓 最高三〇・〇七 最低三〇・〇三 風向南 風力一		
官房機密第五三号		
大正三年八月十日 海軍大臣八代太郎		
若宮丸指揮官猪山綱太郎殿		
若宮丸行動及任務ニ関スル件		
其船ハ軍需品ノ輸送ヲ止メ横須賀ニ於テ飛行機母艦トシテ準備ヲ完成シ後命ヲ待ツルニ在リ保横須賀兩鎮守府司		

全十一日	令長官ハ此旨訓令セリ
右訓令ス	(終)
横鎮機密第五六七號ハ三	
大正三年八月十日 上村横須賀鎮守府参謀長	
猪山若宮丸指揮官殿	
左ノ件通知ス	
官房機密第五五號ノ三	
大正三年八月十日 海軍大臣八代六郎	
横須賀鎮守府司令長官伊地知季珍殿	
若宮丸設備ノ關スル件	
若宮丸其地ニ到着スル直ニ飛行機母艦トシテ左ノ準備ヲ究	
成ス可シ	
一、飛行機四台ヲ以テ編成セル飛行機隊一隊ヲ搭載シ得ル設	

全十五日

佐鎮長官宛

石炭搭載ノ件

本船飛行機母艦トシテノ任務上吃水浅キ付バラスト用石炭
五百噸搭載致度候条御認許相成度

存上中ス

(終)

進テ石炭ハ煉炭ヲ搭載致度

十五日ニ於ケル飛行機及發動機ノ現状左如シ

(1) 機體

一七号 (子ルマシ
七馬力)

完備 4. 7式 (新)

八月五日完成

二八号 (子ルマシ
七馬力)

八月十五日迄完成

7. 5式 (新)

十月半完成

三一号 (子ルマシ
七馬力)

八月廿日迄完成

7. 5式 (新)

十月半完成

五五号 (子ルマシ
七馬力)

九月上旬完成

8. 1式 (新)

十一月一杯完成

十二号 (子ルマシ
七馬力)

完備 (但し無線装
備セズ)

9. 2式 (新)

十一月一杯完成

全	十六日	日	晴	最高八四 最低七七	氣壓 最高九九 最低八六	風向 北東	風力 一	電譯發信者 佐鎮參謀長	受信者 指揮官	各昨日其筋へ上中レ置ケリ尚直接其筋へ交渉セシ
一號	(ト別)	完備	工廠新造中モ	二台	九月中旬	成				
二號	(ト別)	完備	右	全	三台	十月中旬	成			
三號	(ト別)	完備	右	全	三台	十月中旬	成			
四號	(ト別)	完備	右	全	三台	十月中旬	成			
五號	(ト別)	完備	右	全	三台	十月中旬	成			
六號	(ト別)	完備	右	全	三台	十月中旬	成			
七號	(ト別)	完備	右	全	三台	十月中旬	成			
八號	(ト別)	完備	右	全	三台	十月中旬	成			
九號	(ト別)	完備	右	全	三台	十月中旬	成			
十號	(ト別)	完備	右	全	三台	十月中旬	成			

全十七日	月	佐鎮機密第三五〇部ニテ受領ス 横須賀於テ飛行機用消耗品ニ関シ海軍大臣宛配給方 上申并ニ佐鎮長官ニ報告ス 晴氣温 最高八二 最低七七 氣壓 最高三〇・七 最低二九・九 風向北東 風力一二 電譯 發信者 佐鎮長官 受信者 指揮官 ハラスト用ニ種煉炭五百屯搭載方特ニ認許セラル
全十八日	火	佐鎮機密第三三五部ヲ受領ス 晴氣温 最高八一 最低七三 氣壓 最高三〇・一〇 最低三〇・四 風向北東 風力一 第三艦隊ニ編入セラル
全十九日	水	佐鎮參謀長宛秘密圖書供給方ヲ上申シ允許ヲ受ク 晴氣温 最高八三 最低七三 氣壓 最高三〇・五 最低三〇・〇 風向北東 風力一 海軍少佐 金子養三 海軍大尉 山田忠治 海軍大尉 和田秀穂 海軍中尉 大崎教信

		全 廿一日 金								
<p>右航空術研究委員ヲ命ス(八月十七日海軍省)</p> <p>横鎮機密第六三五號ノニヲ受領ス</p>	<p>全</p> <p>右ノ三ヲ受領ス</p>	<p>晴氣温<small>最高八七 最低七七</small>氣壓<small>最高九九 最低九九四</small>風向<small>北東</small>風力<small>一</small></p>	<p>海軍少佐 金子養三</p> <p>海軍中尉 飯倉貞造</p>	<p>海軍大尉 山田忠治</p> <p>全</p> <p>武部鷹雄</p>	<p>全</p> <p>和田秀穂</p> <p>海軍機回大尉 花嶋孝一</p>	<p>海軍中尉 大崎教信</p> <p>海軍上等機回兵曹 吉田四郎</p>	<p>全</p> <p>藤瀬 勝</p>	<p>右午食後着任</p>	<p>一等兵曹阿部實外下士卒三十四名横海團ヨリ乗船</p> <p>午前横鎮司令長官末船巡視暫時ニシテ退船</p>	<p>横鎮機密第六二五号ノ六ヲ受領ス</p>

横鎮機密第五六七号ノ七

大正三年八月廿日横須賀鎮守府司令長官伊地知季珍

横須賀海軍工廠長黒井悌次郎殿

若宮丸指揮官猪山綱太郎殿

左ノ件傳達ス

海軍大臣ヨリ司令長官宛電報 訳文 (八月廿日午後三時五十分後)

若宮丸外部着色ハ軍艦同様鼠色トス(終)

外舷ヲ鼠色ニ塗粧ス 午後糧食搭載

横鎮機密第六二一号ノ七ヲ受領ス

全 第六五三号ニラ受領ス

艦本第三五九七号

大正三年八月廿日 村上海軍艦政本部長

若宮丸指揮官殿

海軍省

廿一日

飛行機用艦營需品一件

若宮丸機密第五四號ヲ以テ上申相成候中艦營需品ニ就テ入定額並ニ豫算外供給ノ事ニ致置候条需品庫へ請求相成度

右通知ス

(終)

午後九時 奉命着 發信人 第三艦隊司令長官 受信人 指揮官

電文記 若宮丸指揮官へ返

佐世保ニ寄港セヨ但シ司令部及鞍馬、磐手、筑波ノ郵便物ハ持来ルニ及ハス

官房機密第六四一号ノ二

大正三年八月廿一日 海軍大臣 八代六郎

若宮丸指揮官 猪山綱太郎殿

飛行機交付ノ件

本件ニ関シ別紙寫ノ通り横須賀鎮守府司令長官ニ
訓令矣条此旨心得

右訓令ス (別紙一葉添付)

官房機密第六四一号

大正三年八月廿一日 海軍大臣ヨリ横須賀鎮
守府司令長官宛

飛行機ヲ若宮丸ニ交付方ノ件

航空術研究委員用飛行機四曲基附屬品豫備品
及飛行機要具共若宮丸用トテ同指揮官ニ交付
方取計

右訓令ス

官房機密第六四号白

大正三年八月廿日 海軍大臣八代六郎

若宮丸機密第五四号上申中消耗兵器臨時配給ノ件

全 廿三日 土	認許ス但レ現品ハ出来得ル丈横須賀工廠ヲ受領ス 晴氣温 最高九〇 最低七五 氣壓 最高三〇・〇 最低二九・三 風向 北東 風力 一 佐鎮機密第三六五号ヲ受領ス
全 廿三日 日	内艦掃桁塗粧(鼠色) 晴氣温 最高八八 最低七六 氣壓 最高三〇・〇 最低二九・三 風向 南 風力 三 午前カヨリシ油搭載(総計 五五キログラム) フ式百馬力飛行機一台ヲ後甲板ニ搭載 朝食後組長川瀬市太郎外職工七名横須賀海軍工廠ヨリ乗船ス 横鎮戦第一號ヲ受領ス 自十三日 本艦飛行機母艦トシテ設備事項左ノ如シ 一 飛行機格納所ノ天幕横幕ヲ展張設備工事 二 飛行機出入用トシテデッキ及屬具ヲ六十呎前後部ニ

<p>ニ新設ス</p>	<p>ハガソリンタンク五何<small>(但し前部ニ何後部三何)</small>新設 <small>(何三千リットル入ノ油缶)</small></p>	<p>ハ飛行機<small>用</small>需品格納所一ヶ所<small>(第四ホールド便乗)</small>新設 <small>(省室一區劃改造)</small></p>	<p>ハ航空術研究委員用私室トシテ第一、二、三、四、五号便乗 省室、改造</p>	<p>ハ全委員附上等機国兵曹ノ私室トシテ隔離病室、却改造</p>	<p>ハ第三船艙内飛行機(7式)四台格納台ノ設備</p>	<p>ハ警戒速力舵柄信号燈桁端速力信号燈ノ設備</p>	<p>ハ武式(四呎半)ノ距離測定儀ヲ艦橋ニ備付</p>	<p>ハ陸式拳銃(十挺)月彈藥三〇。發備付</p>	<p>ハバラスト用トシテ第二種煉炭五百七ヲ第一及第二、第四船艙</p>	<p>ニ搭載<small>(第一船艙一八〇七第三 船艙三〇七第四船艙五七)</small></p>	<p>ハ「モーターカッター」一隻備付</p>
-------------	--	--	---	----------------------------------	------------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------	-------------------------------------	--	------------------------

庫
庫

